

「南区まちづくり活動サポート事業」実施報告書

令和 3 年 1 2 月 1 0 日

団体名 月潟商工会青年部

代表者氏名 部長 佐藤 俊二

1 提案事業名

スカイランタン打ち上げ事業

2 事業内容

2021年も新型コロナウイルスの蔓延が収まらず、新しい生活様式を取り入れた生活を送りながらも、閉塞感の漂う日々を過ごしている。月潟まつりや大道芸フェスティバルなど地域行事も中止となり、月潟地域に来街していただき、月潟地域をPRする機会も失われた。今年度は新潟市内外から参加者を募ることで、交流人口を増加し、月潟地域の魅力をPRし、月潟地域の活性化を図る事を目的として開催した。

(1) 事業実績

①スカイランタンの打上げ

令和 3 年 10 月 31 日 (日) 17 時～ 月潟小学校グラウンド

参加者 125 名 見学者 142 名 スタッフ 29 名 計 296 名

②旧月潟駅の夜間開放

令和 3 年 10 月 31 日 (日) 16 時 30 分～19 時 30 分 旧月潟駅

来場者 62 名以上 スタッフ 6 名 計 68 名以上

③竹灯籠の設置

月潟小学校～旧月潟駅間の沿道に 250 個設置

(2) 事業経過

実施日	内容	参加者	詳細
5 月 24 日 (月)	補助事業採択		
6 月 18 日 (金)	青年部全体会議①	5 名	審査会での意見の対応策協議
7 月 15 日 (木)	青年部全体会議②	5 名	イベント内容協議
8 月 5 日 (木)	青年部全体会議③	7 名	竹灯籠試作
9 月 15 日 (水)～	参加者募集① (月潟地域先行募集)		チラシを月潟地域に全戸配布 Web 申込 (9/30 締切)
9 月 22 日 (水)	青年部全体会議④	5 名	荒天時対応協議
9 月 26 日 (日)	竹伐採	4 名	大別当地内 竹 25 本伐採
10 月 1 日 (金)	参加者募集② (一般募集)		新潟日報募集記事掲載 10/15 締切
10 月 6 日 (水)	竹灯籠製作	9 名	

実施日	内容	参加者	詳細
10月20日(水)	準備作業	7名	スカイランタン・竹灯籠製作
10月30日(土)	準備作業	6名	旧月潟駅飾り付け
10月31日(日)	イベント当日	296名	
11月9日(火)	全体会議⑥	7名	後片付け・反省会

(3) 参加者募集

①月潟地域先行募集(9月15日～9月30日)

今年は新潟市内外から参加者の募集を行う事としたが、より多くの月潟地域の住民に楽しんでいただきたい思いから、月潟地域の住民を対象に先行募集を行った。

自治会長の協力を得て、チラシを月潟地域に全戸配布を行い、インターネットからのWeb申込と紙でも申込を併用した。

今年は参加費を徴収する有料イベントであることと、全世代の一般募集であることから、月潟小中学校を通じたチラシ配布、募集取り纏めは行わなかった。

②一般募集(10月1日～10月15日)

月潟商工会ホームページに募集案内を掲載し、月潟地域外からの参加者を募集した。10月9日には新潟日報朝刊に募集記事が掲載された。

③申込状況

	参加希望者数	見学希望者数	合計
月潟地域	85	68	153
月潟地域外	43	46	89
合計	128	114	242

(4) 竹灯籠の製作

審査会にて月潟小学校でのスカイランタンの打上げと旧月潟駅でのイルミネーション装飾との相乗効果を生む工夫をとの意見を踏まえ、検討を行った。

月潟小学校と旧月潟駅の約350m間を沿道に竹灯籠を設置し、両会場への導線確保する事とした。

竹灯籠の製作に当たっては、大別当地内の竹林で積雪の際、竹が隣地に倒れ込み困っているとの情報を得て、地域課題の解決にもなる事から、地権者の同意を得て大別当地内の竹を25本伐採する事とした。

伐採した竹は節事に切り刻み、端を斜めに切り落とし、花火をイメージした穴を空け、穴から灯りが漏れる様、細工し、250個製作した。



(5) 参加費の徴収

事業費の1部を負担していただくため、参加者1名につき、1,000円を徴収することとした（去年は無料）。

審査会にて小中学校の児童生徒の負担軽減をとの意見があり、対応策を検討したが、事業の継続性を考慮すると参加費徴収はやむを得ないと判断した。

しかし、去年は無料で今年は有料とするには、昨年以上の付加価値を付けなければ受け入れられない事でもあり、旧月潟駅の夜間開放、竹灯籠の設置により昨年よりグレードアップしたイベントとする事とした。

また、参加費の値引きをする事は付加価値を落とすこととなるため、代替策として、イベント当日はハロウィンであることから、青年部員である「御菓子司まさや」の協力で、当日限定の特製スイーツ（クレープ、クッキー）を開発していただき、仮装して来場された参加者にプレゼントする事とした。

特製スイーツは130個仕入、仮装での来場者88名にプレゼントし、残り42個は会場にて500円で販売した。



(6) 新型コロナウイルス感染予防対策

①好天時（月潟小学校グラウンドにて打上げ）

○発熱時の参加辞退、マスク着用、手指消毒、検温、ソーシャルディスタンス確保を事前周知し協力を願った。

○参加者・見学者も含めて、氏名・住所・電話番号等の来場者名簿を作成した。

○屋外での開催であるため、人数制限を設けなかった。密集が予想される受付時・打上げ時のソーシャルディスタンスの確保のお願いをアナウンスした。

②荒天時（月潟小学校体育館にて打上げ）

○月潟小学校体育館のコロナ禍での収容可能人数が150名のため、受付順で70名までと71名以降とに分ける2部制とすることを事前告知。

○第1部は18時打上げ。第2部は18時30分打上げ予定とした。

(7) 当日の様子

①イベント名 「月空ランタンフェス2021」

～舞い上がれ大空へ 希望を乗せて～

①開催日 令和3年10月31日(日)

②会場 月潟小学校グラウンド・旧月潟駅

③参加者数

	属性	参加者	見学者	合計	
スカイランタン	月潟地域	84	81	165	
	南区(月潟以外)	12	18	30	
	南区小計	96	99	195	
	秋葉区	4	2	6	
	西蒲区	1	11	12	
	西区	8	6	14	
	江南区	1	0	1	
	中央区	3	2	5	
	東区	1	4	5	
	新潟市(南区外)小計	18	25	43	
	燕市	8	11	19	
	三条市	0	4	4	
	長岡市	2	2	4	
	新発田市	1	1	2	
	新潟市外小計	11	18	29	
	合計		125	142	267
	旧月潟駅 (旧月潟駅のみ の来場者)	月潟地域			44
南区(月潟以外)				2	
新潟市(南区外)				7	
新潟市外				9	
合計				62	
合計				329	

前日にはかぼちゃ電車保存会の協力により旧月潟駅にイルミネーション装飾を施し、かぼちゃ電車内及びホームにはハロウィンの飾り付けを行った。

当日は好天に恵まれ、朝から青空が広がり、ほぼ無風の状態でスカイランタンの打上げには絶好のコンディションであった。

月潟商工会青年部7名及び青年部OB4名の計11名で午前9時30分から月潟小学校にて会場設営作業及びスカイランタンの制作作業及びに取り掛かった。月潟小学校から旧月潟駅への沿道には竹灯籠を250個設置し、竹筒の中にゆらゆらと揺れる蝋燭に模したLED電球を入れた。

15時30分からはボランティアスタッフ約14名も加わり、風船にヘリウムガスを充填し、参加者を迎え入れる準備が整った。

17時から参加者の受付を始め、受付で来場者名の確認（事前申込していない人はその場で名簿記載）、手指消毒、検温を行った。参加者1名1000円受領し、ピンク色の短冊を渡した。

仮装をした参加者へは仮装のテーマを確認し、特製スイーツをプレゼントした。仮装した参加者は88名で見学者を含めると100名以上の方から仮装して来場いただいた。会場内は風船や照明によりハロウィンの飾りを施し、グラウンド内に撮影スポットを設け、記念撮影を行っている家族が多くいた。

「短冊記載所」にて短冊に願い事などを記入していただき、見学者が短冊を書きたい場合はテーブルに水色の短冊を設置し自由に書いていただいた。

「ランタン渡し場所」にてピンク色の短冊保持者にスカイランタンを渡し、スカイランタンに短冊を結び付ける事を説明し、グラウンドに移動し本番を迎えた。

18時から司会はFMパーソナリティーの斉藤瞳氏に依頼し、5秒前からカウントダウンし嵐の「カイト」をBGMに打ち上げた。

風船へのヘリウムガスの充填量が不足し（充填時と打上げ時の温度差によりヘリウムガスが収縮した可能性有）、スカイランタンが上空に上がらなかったのもあった。

打上げ終了後、「ランタン渡し場所」付近にて、特製スイーツ42個を500円にて販売し、完売した。

来場者に旧月潟駅にてハロウィン装飾、イルミネーション装飾を施していることを説明し、旧月潟駅への来訪を促した。

旧月潟駅ではかぼちゃ電車保存会のメンバー6名から協力いただき、来場者の誘導、安全確保、かぼちゃ電車の説明を行っていただいた。ホームや電車内をハロウィンの飾りを施し、かぼちゃ電車のヘッドランプを点灯し、普段夜間に見る事が稀な旧月潟駅を楽しんでいただいた。

撤収作業を行い、清掃後、月潟商工会に道具を運搬し、20時に全事業を終了した。

3 評価と課題（目的と成果、今後の取り組み等について記入してください。）

（1）目的

2021年も新型コロナウイルスの蔓延が収まらず、新しい生活様式を取り入れた生活を送りながらも、閉塞感の漂う日々を過ごしている。月潟まつりや大道芸フェスティバルなど地域行事も中止となり、月潟地域に来街していただき、月潟地域をPRする機会も失われた。今年度は新潟市内外から参加者を募ることで、交流人口を増加し、月潟地域の魅力をPRし、月潟地域の活性化を図る事を目的として開催した。

(2) 成果

スカイランタンの打上げは、昨年に引き続き 2 回目の開催となる今年は、有料としたこともあり、昨年との違い、付加価値の向上を重点課題として取り組んだ。

かぼちゃ電車保存会の協力により、旧月潟駅の夜間開放を行うことが出来、またスカイランタンの打上げ会場の月潟小学校と旧月潟駅の沿道に竹灯籠を設置することにより、導線を作り、相乗効果により両会場を楽しんでいただけた。

また、ハロウィン当日でもあり、ハロウィン感を演出したイベントとすることで、仮装した来場者が多くおり、楽しみを一つ加えることも出来た。

昨年はコロナ禍での開催で参加者を月潟小中学校の児童生徒に限定したが、感染状況が落ち着いていた事もあり、一般に参加者を募ることができ、南区外の方が約 100 名来場していただいた。

月潟地域の名所である旧月潟駅にも多くの方から来場していただき、竹灯籠に灯された月潟地内を散策し月潟地域を感じていただいたことで、事業目的である、月潟地域の魅力の PR、交流人口の増大による月潟地域の活性化を図ることが出来た。

当日は衆議院選挙の投開票日と重なり、報道機関の取材はしていただけなかったが、地域的话题を提供しコミュニティーの維持向上に繋がった。

(3) 今後の取組み

月潟商工会青年部では次年度の開催に向け、協議をしております。一番の課題は事業費の確保である。今回は参加費を 1 名 1000 円徴収したが、事業費補助により、事業費を確保することが出来た。次年度以降はスポンサーの依頼も念頭に置かなければならない。

スポンサーから協賛金をいただくとすれば、今年以上の魅力向上と企業にとって宣伝効果のあるイベントとする必要がある。

今年は昨年と比較し事業規模を拡大したが、メンバー自身が楽しみながら事業に取り組んだものの、事業規模拡大には限界がある。

しかし、交流人口の増加、地域間交流の促進に繋がり、月潟地域の PR に寄与するイベントでもあり継続開催を模索したい。

4 実施状況写真



ランタン製作



受付



短冊記入



ランタン渡し



ハロウィン装飾



ハロウィン撮影スポット



打上げ①



打上げ②



仮装



仮装者プレゼント



竹灯笼①



竹灯笼②



旧月潟駅イルミネーション



かぼちゃ電車



かぼちゃ電車飾り付け



旧月潟駅ホーム

収支決算書

収入内訳

(単位:円)

収入項目	予算額	決算額	内 訳
南区まちづくり活動サポート事業委託料	300,000	259,000	新潟市からの委託料
参加費	150,000	146,000	参加費 @1,000 × 125名 125,000円 特製スイーツ売上 @500 × 42個 21,000円
繰入金	212,600	187,703	
収入合計	662,600	592,703	

支出内訳

(単位:円)

支出項目	予算額	決算額	内 訳	委託料 充 当
スカイランタン購入費	350,000	321,200	ヘリウムガス 5kℓ × 4本 123,200円 スカイランタン一式(150基分) 198,000円	○
装飾費	50,000	128,659	装飾用風船ヘリウムガス 29,700円 会場装飾用風船 6,438円 ハロウィン装飾 21,690円 竹灯籠LEDキャンドル 12,000円 LED投光器他 45,800円 電車内装飾用電球 13,031円	○
広報費	150,000	8,400	チラシ印刷代	○
賃借料	10,000	3,000	月潟小学校使用料	○
保険料	30,000	22,012	賠償責任保険 10,630円 傷害保険 11,382円	○
報償費	10,000	10,000	司会者謝礼	○
消耗品	30,000	20,288	竹灯籠加工用工具備品	○
通信費	12,600	1,344	参加者宛文書郵送料	○
食糧費	20,000	77,800	スタッフ昼食・飲物 13,300円 特製スイーツ仕入 64,500円	
支出合計	662,600	592,703		

※1 支出内訳で、南区まちづくり活動サポート事業委託料を充当した項目は、「委託料充当」欄に○を記入してください。

※2 領収書の写しを必ず添付してください。